

のと共栄信用金庫の環境への取組みについて

【石動山で森づくり】



森は自然の恵みをもたらす源であり、地球温暖化の原因である二酸化炭素を吸収する機能をはじめ水源涵養機能等様々な公益的機能を持っていることから、当金庫では平成20年5月1日に石川県と「企業の森づくり」協定を締結し、鹿島郡中能登町の石動山県有林を借り受け、間伐、枝打ち、下刈りなどの人工林の整備を始めました。平成20年6月21日の第1回の森づくりからこれまで22回行いましたが、毎回職員、家族、地域住民など約200人を超える人たちがボランティアとして参加しています。



これまでの活動の結果、石川県が地球温暖化防止対策の一環として平成20年度に創設した「CO₂吸収認証制度」で、整備した森林が1年間に吸収するCO₂の量は、累計で228.6—CO₂の認証を受けました。

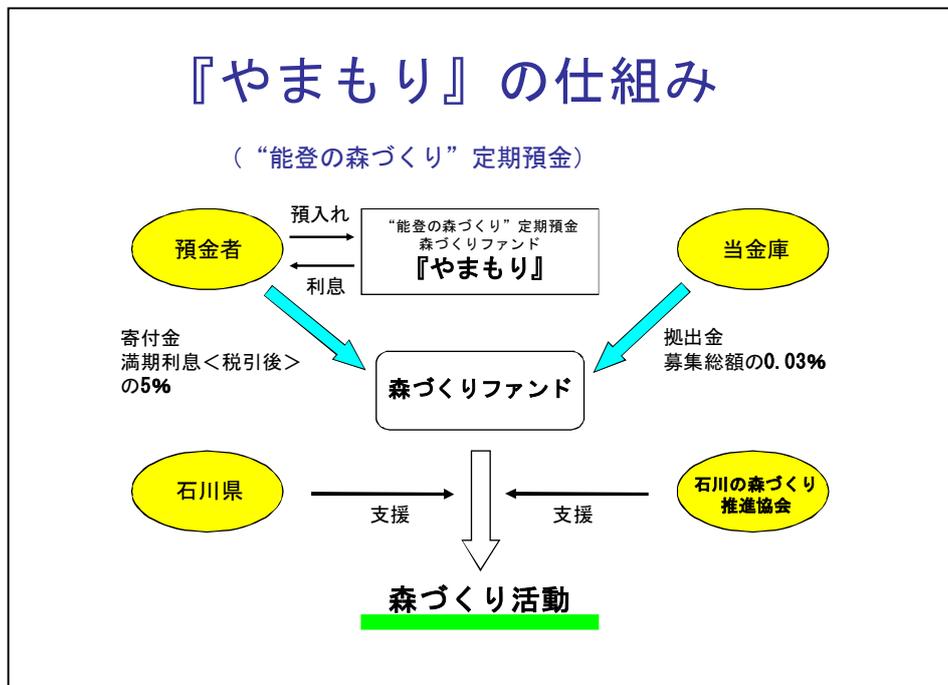
【環境保全活動支援定期預金の取り扱い】



当金庫では、これまで地球温暖化の原因である二酸化炭素(CO₂)を『吸収』・『削減(排出抑制)』に取り組む定期預金など環境保全活動応援定期預金の取り扱いを行ってきました。

特に“能登の森づくり”定期預金、森づくりファンド『やまもり』は、CO₂吸収型として、石動山県有林での森づくりに賛同いただけるお客様からお預けいただいた定期預金の満期時の受取利息の一部を「森づくりファンド」に寄付していただき、お客様からの寄付金と当金庫からの拠出金(募集総額の0.02%)を活動原資に森づくりを行うものです。

毎回募集額を大幅に上回る預入をいただき、森づくりに対する関心の高さを感じています。



【児童環境学習活動の実施】

当金庫では、平成21年度から七尾市と中能登町の小学校全校の6年生を対象に環境学習出前講座を始めました。次代を担う子ども達と環境保全の大切さを一緒に考え、ふるさとの自然を愛する心を育み、将来の地域社会の担い手となる人間性豊かな人材を育成することを目的に、4月28日に両市町の教育委員会と「環境学習講座等に関する協定」を締結しました。そして七尾市・中能登町の全校が地球温暖化問題や家庭で出来る省エネルギー等について学習しその後各学校で活動のテーマを選定し環境学習に取り組んでいます。



【環境に配慮したエコ店舗】

初のエコ店舗として、平成21年7月に移転新築した「かしま支店」には、外灯に風力と太陽光のハイブリッド発電システムを3基導入しました。これによって発電する電力（1か月約16kWh）で、5.5KgのCO₂の排出を削減することができます。また、駐車場には将来電気自動車の普及を視野に入れて充電スタンドを1基設置しました。

また、平成23年10月に移転新築した「野々市支店」についても同様の設備を導入しました。